

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	特進一貫	地理歴史	世界史A	全	必修	2

講座のねらい

中学で学んだ社会、歴史の知識を基礎に、今年度はより発展的に世界各地の歴史を学びます。世界史の大きな枠組みや流れ、歴史的事象を理解し、さまざまな事象が歴史を動かし、新たな歴史をうみだしていくという理解が大切です。扱う時代は古代、中世、近代にまでいたり、地域は中国、イスラーム世界、ヨーロッパなど多岐にわたります。内容も深く複雑であり、真摯な学習姿勢が必要です。また、世界の歴史を理解することで、現代社会をより深く認識し、歴史的な観点から問題点を発見し、解決する能力を養うことにも努めます。

使用教材及び問題集

教科書 『世界史B』（東京書籍）
 学習ノート 『要点マスター 世界史B整理ノート』（東京書籍）
 資料集 『最新世界史図説 タペストリー』（帝国書院）
 問題集 『高校新演習 スタンダード世界史B上』（エデュケーショナル ネットワーク）

授業の内容と進め方

教科書の記述に沿って授業を進めていきます。人名、国名、地名、事件などをあげながら、世界史の大きな時代の流れや歴史用語を説明し板書をします。授業を補完したり発展的に進めるために資料集を使用し、興味、関心がわくよう工夫します。歴史的知識や思考力を養うため、小テストや問題演習を行うことで、用語理解の定着をはかります。

講座の到達目標

1. われわれが生きている社会や世界がさまざまな歴史的な事象の積み重ねから成り立っていることを理解し、社会や歴史について大いに興味、関心をもつことが第一の目標です。
2. 定期考査や入試では、歴史的な事象を知識として記憶、理解しておく必要があるため、さまざまな事柄や用語をしっかりと覚え、また定着するようにします。
3. 歴史的な知識を多く得ることで、過去の事象を詳細に理解します。こうした作業をふまえて、現代社会に起こるさまざまな事柄を歴史的な観点から解釈できる能力を身につけます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査の得点を主とし、授業態度、課題などの提出物、小テストなどで総合的にを行います。ノート提出や小テストは適宜行う予定です。定期試験は、教科書を中心に授業で学習した内容を出題します。入試を念頭においた発展的内容や入試問題も出題することがあります。

備考

授業の計画

1 学期	学習計画および学習内容
第4章	東アジア世界 3 東方の世界帝国
第5章	内陸ユーラシア世界 1 騎馬遊牧民国家の興亡 2 草原地帯のトルコ化とイスラーム化
第6章	東南アジア世界 1 海の道の形成と東南アジア 2 東南アジア諸国家の再編成
第7章	古アメリカ世界
第8章	イスラーム世界の形成 1 イスラーム世界の成立
2 学期	学習計画および学習内容
第8章	イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 イスラーム文明
第9章	ヨーロッパ世界の形成 1 東ヨーロッパ世界 2 西ヨーロッパ中世世界の成立 3 封建社会と都市 4 カトリック教会と十字軍 5 中世ヨーロッパ文化 6 中世的世界の動揺
3 学期	学習計画および学習内容
第9章	ヨーロッパ世界の形成 7 ルネサンス
第10章	東アジア世界の変容とモンゴル帝国 1 唐の崩壊後の東アジア 2 宋代の新展開－都市の時代のおとずれ 3 ユーラシア大陸をおおうモンゴル帝国 4 元朝の成立